

啓発活動報告

1. 概要

経営管理人材育成に関する課題を産学で共有し、解決していくことを目的とした啓発活動を行った。今年度は FinTech をテーマとした講演を含めて、セミナーを 2 回開催した。開催時に参加者にアンケートを実施し、経営管理人材育成講座へのニーズを収集した。

2. セミナー開催の流れ

経営管理人材育成に関する課題の共有や産学の連携体制の強化を目的とした啓発活動として、セミナーの開催を企画した。その中で、当初は、本事業で開設する経営管理人材育成講座の中心テーマである財務・会計と、それに活用されるクラウドファンディングとを絡めた内容の講演を実施することを検討した。ところが、昨年度実施した「経営管理人材尾要件に関する調査⁴⁾」では、クラウドファンディングを「既に活用している」との回答は 100 人中 2 人に留まった。さらに、経営にクラウドファンディングを活用することについては、「あまり重要でない」と「全く重要でない」の合計が 72 人に上った。

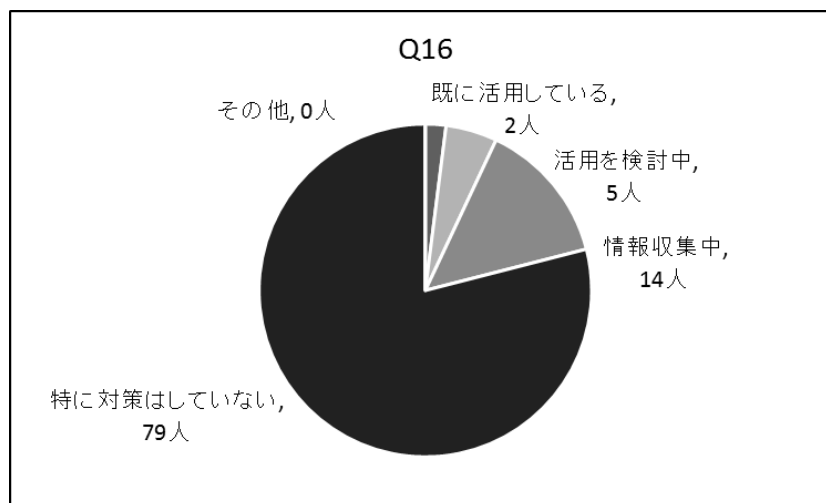
図表 46 クラウドファンディングへの対策（昨年度調査）

Q16 貴社では、クラウドファンディングが普及していることに対し、どのような対策を取っていますか。

1. 既に活用している 2. 活用を検討中 3. 情報収集中
4. 特に対策はしていない 5. その他 ※具体的にご記入ください。

回答	人数
既に活用している	2
活用を検討中	5
情報収集中	14
特に対策はしていない	79
その他	0

⁴⁾ 千葉県内で勤務する中小企業の経営層及びマネジメント層を対象にアンケートを実施し、100 人から回答を収集。

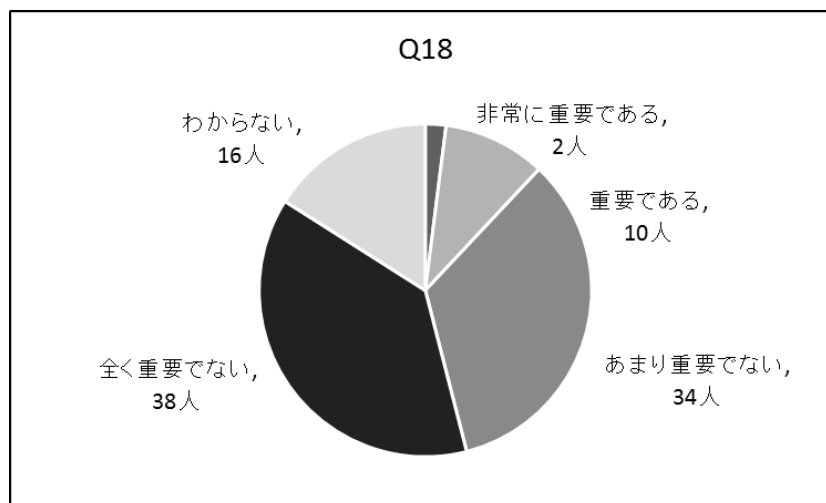


図表 47 クラウドファンディングの重要性

Q18 貴社では、経営にクラウドファンディングを活用することについてどの程度重要だと考えていますか。

1. 非常に重要である 2. 重要である 3. あまり重要でない 4. 全く重要でない
5. わからない

回答	人数
非常に重要である	2
重要である	10
あまり重要でない	34
全く重要でない	38
わからない	16



そのため、クラウドファンディングについての講演ではセミナーへの参加者を募ることは難しいと判断し、より身近な存在になりつつある FinTech についての講演を実施することにした。なお、クラウドファンディングについては、次年度以降も引き続きセミナーを開催していく中で、その有効性等を周知していくこととした。

2.1. 第 1 回セミナー

2.1.1. 概要

先述した検討を経て、「第 4 次産業革命に対応し地域振興に寄与できる経営管理人材育成セミナー」と銘打ったセミナーの第 1 回を、平成 31 年 1 月 25 日（金）に開催した。講演講師は、北海道を中心に IT 経営コンサルタントとして企業・自治体等における IT 利活用や情報セキュリティ、BCP（事業継続計画）、デジタル終活などの講演・コンサルティングで幅広く活躍されており、本事業の実施委員でもある札幌学院大学客員教授 赤羽幸雄氏に依頼した。また、本校卒業生の就職先企業を中心に 200 社に案内を送付し、セミナー当日は 15 人が出席した。

図表 48 第1回セミナー概要

項 目	内 容
開催日	平成 31 年 1 月 25 日（金）
時 間	14 時～15 時
会 場	学校法人秋葉学園 千葉情報経理専門学校 別館 2 階
内 容	講演 『フィンテック【金融×IT】で加速する経営のイノベーション』 講師 札幌学院大学 客員教授 戦略経営ネットワーク協同組合代表理事 IT コーディネータ 防災士 赤羽 幸雄 氏 経営管理人材育成講座（平成 31 年度開講）の案内 意見交換・アンケート等
参加者	15 名

図表 49 第1回セミナーの様子

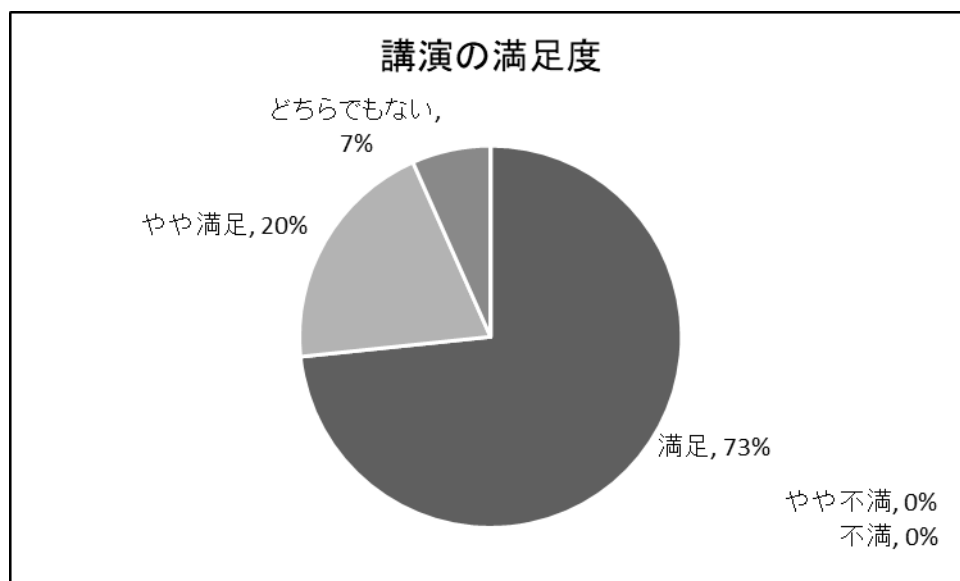


2.1.2. アンケート結果

第1回セミナーについて、講演の満足度やセミナー全体の満足度、経営管理人材育成講座についての印象に関するアンケートを実施した。以下、その結果を列記する。

1. 講演についてどの程度ご満足いただきましたでしょうか。

回答	人数
満足	11
やや満足	3
どちらでもない	1
やや不満	0
不満	0



講演の満足度では、「満足」と「やや満足」の合計が9割を超えた。「やや不満」「不満」という回答はなかった。なお、講演に対するコメントとして、以下のようなものをいただいた。

講演に対するコメント

- ・コンパクトにまとめてあり理解しやすかった
- ・FinTechによりキャッシュレス化が進み、今後の日本が大きく変わるため、生活様式とともに我々の意識も変える必要があるのでは？

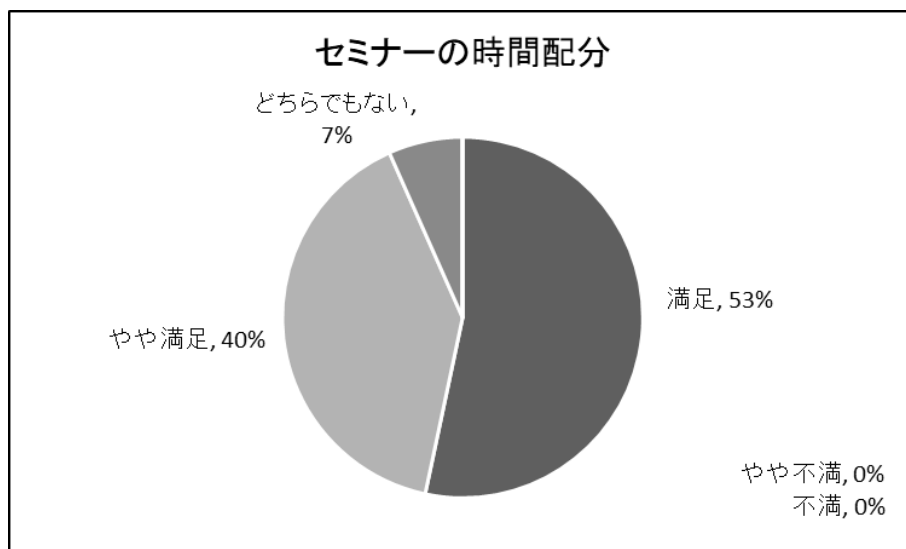
- ・始めて知ることが多くて、目からうろこという感じでした。時代に取りおくれのないようにもっと勉強しなくてはいけないと思いました。
- ・キャッシュレス化社会と、FinTech の現状と普及のタイムテーブルを知ることが出来ました。
- ・新聞・ニュースで知っている知識に、実際に進行しているフィンテックの現実が融合できた。
- ・とてもわかりやすく、勉強になりました。
- ・概ね知ってることだったが、より具体的に聞けて良かった。

2. 本日のセミナー全体を通して、以下の点でどの程度ご満足いただきましたでしょうか。

- (1) 時間配分
- (2) 進行のスムーズさ
- (3) スタッフの対応

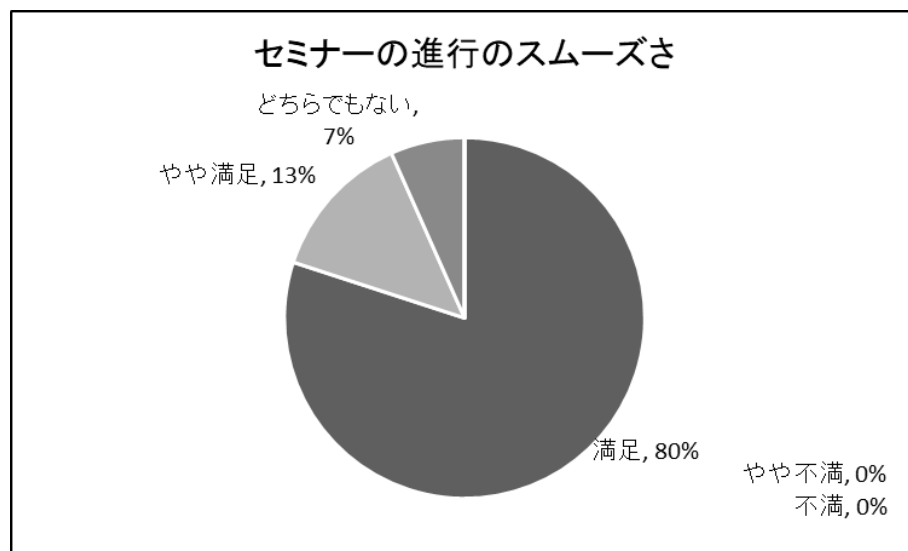
(1) 時間配分

回答	人数
満足	8
やや満足	6
どちらでもない	1
やや不満	0
不満	0



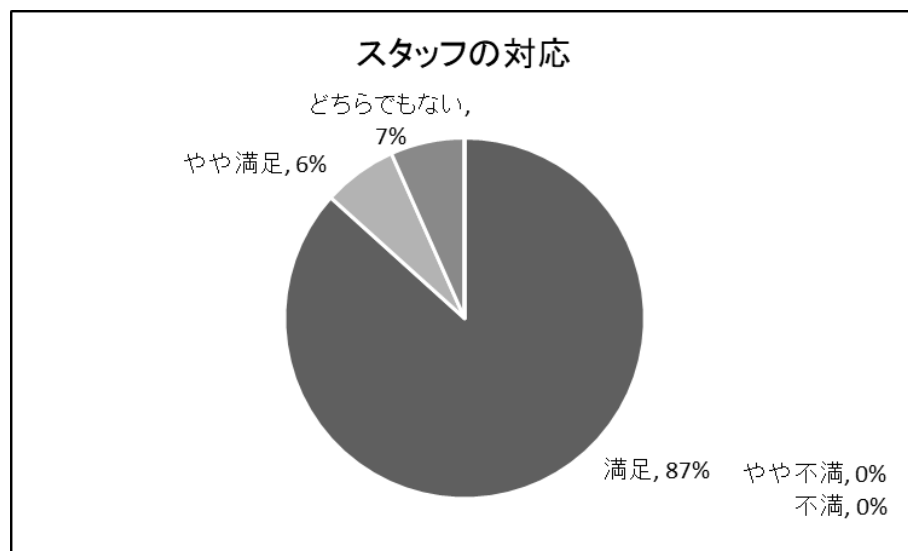
(2) 進行のスムーズさ

回答	人数
満足	12
やや満足	2
どちらでもない	1
やや不満	0
不満	0



(3) スタッフの対応

回答	人数
満足	13
やや満足	1
どちらでもない	1
やや不満	0
不満	0



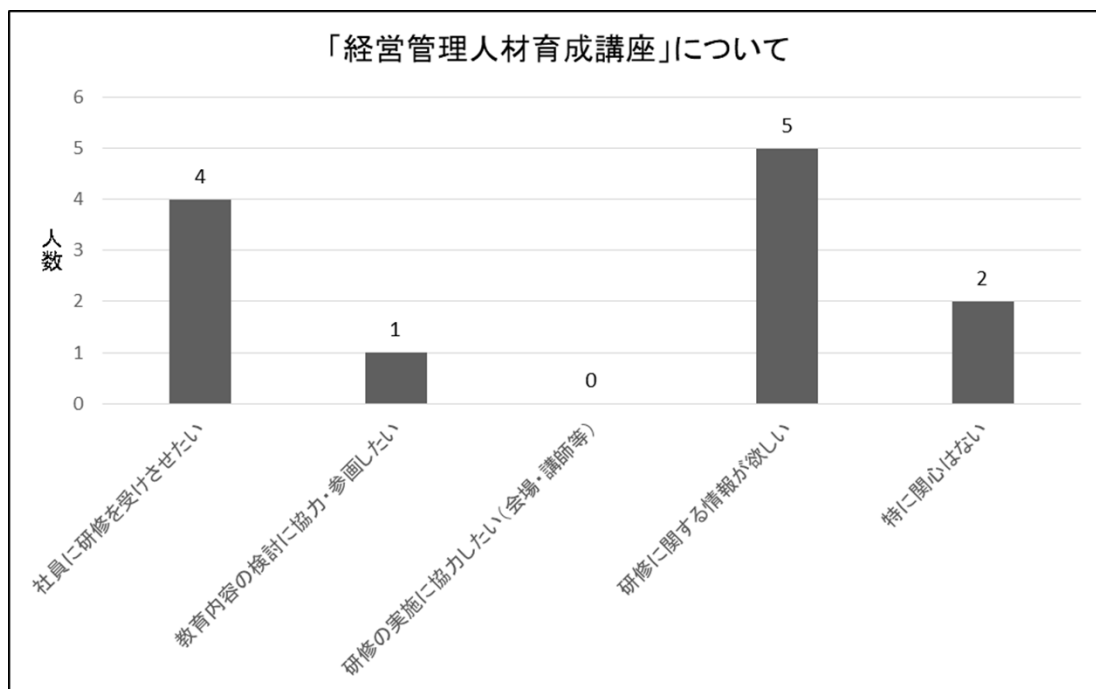
セミナー全体の満足度では、(1) 時間配分、(2) 進行のスムーズさ、(3) スタッフの対応、いずれも満足度が高かった。

3. 今後、セミナーで講演を聴いてみたいテーマ等ございましたら、以下にご記入ください。

本設問には1件のみ、「「データ分析に関する知識や実践スキル」を学びたい」という回答があった。

4. セミナーでご紹介しました「経営管理人材育成講座」についてお考えの近いものをお選びください（いくつでも）。

回答	人数
社員に研修を受けさせたい	4
教育内容の検討に協力・参画したい	1
研修の実施に協力したい（会場・講師等）	0
研修に関する情報が欲しい	5
特に関心はない	2



「経営管理人材育成講座」の印象については、「研修に関する情報が欲しい」が5人で最も多く、「社員に研修を受けさせたい」も4人であった。「教育内容の検討に協力・参画したい」という回答も1人からあり、今後、講座内容の充実等の面で連携を深めていける可能性が示された。なお、「内容による」とのコメントが欄外に記載されている回答もあった。

5. 経営管理人材の育成や事業承継について課題になっていることや取り組んでいること等、ご意見をご自由にご記入ください。

回答（自由記入）

- ・クラウドの活用に関する知識が必要（クラウドの財務・会計への活用事例）
- ・ビジネスについては初心者なのでひきつづき勉強していきたいと思います。
- ・事業承継する人がいない。

自由意見では、人材育成で必要な内容や、事業承継する人の不足といった課題が記入された。

2.2. 第2回セミナー

第2回セミナーは、平成31年2月12日（火）に開催した。講演講師は、メーカーの情報通信部門で大手銀行の勘定系・情報系システム構築を担当し、独立後はECモールやWebサービス事業などを手がけている、ファイン・インテリジェンス・グループ株式会社代表取締役 藤田久男氏に依頼した。また、第1回と同様、本校卒業生の就職先企業を中心に200社に案内を送付し、セミナー当日は12人が出席した。

図表 50 第2回セミナー概要

項 目	内 容
開催日	平成31年2月12日（火）
時 間	17時～18時
会 場	アルカディア市ヶ谷 私学会館
内 容	講演 『金融システムの変遷 なぜ「フィンテック」が 出てきたのか？』
	講師 ファイン・インテリジェンス・グループ株式会社 代表取締役 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 講師 藤田 久男 氏
	平成30年度事業成果報告
	意見交換等
参加者	12名

なお、第2回セミナーは本事業の成果報告会を兼ねて開催した。そのため、時間の都合でアンケートは実施しなかったが、参加者からは、講演内容及び経営管理人材育成講座はどちらも概ね好評だった。

3. 啓発活動のまとめ

経営管理人材育成に関する課題を産学で共有し、解決していくことを目的とした啓発活動を行った。今年度は FinTech をテーマとした講演を含めて、セミナーを2回開催した。アンケートの結果から、講演、及びセミナー全体の満足度は高かったことが分かる。経営管理人材育成講座についても、関心の高さがうかがえた。

次年度以降も啓発活動を引き続き実施していくが、クラウドファンディングやデータ分析等に関する内容を、講演のテーマに設定するか、もしくは、実施委員からパネラーを選出し、関連するテーマについてのパネルディスカッションなどの実施も検討したい。この活動により、経営管理人材育成に関する課題の共有や、産学の連携体制の強化につなげていく。